

## 平成 31 年度自己評価結果

作成 アケミ幼稚園

### 1、本園の教育目標

少人数制を導入し、きめ細かな保育を行うことで、自信を持った心豊かなこどもに育つことを目指している。

また、こどもの主体的な遊びの時間を重視し、異年齢での遊びや先生との関りのなかで、今後の人生の基礎となる、コミュニケーション能力が身につくことを目指す。

### 2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

保護者のニーズを確認し、本園の担う役割を知り、より理想の教育目標に近づけるように検討する。本年度も保護者との連携を把握することで、家庭と本園が一体となり、こどもが成長できるように工夫し続ける。小学校教育がスムーズにいくように、小学校との連携を高める。

### 3、評価項目の達成及び取組状況

評価行目	取組状況
一人ひとりのこどもを援助するため、全教職員が、共通理解を持ち関わる。	保護者との連携をはかり、家庭と本園が一体となって、保育できるようにすると共に、一人のこどもに対して、全教職員が共通の思いを持ち関わることで、成長を援助できるように、日々話し合いを行っている。
教育の質を向上させるために、園内研究保育を充実させる。	他の先生の保育を研究し全教職員で意見を交し合うことで、日々の保育を振り返り、保育の質を向上させることを目標に園内研究保育を実施している。
保護者のニーズを把握し、改善につとめる。	保護者との懇談会を定期的の実施し要望を把握すると共に、常に改善につとめた。

#### 4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

課題について全職員が理解し、自己評価したのち取組状況を話し合うことで、本園の方針を明確にでき、今後もより良い園にするために、継続して取組むことを共通理解とすることができた。

#### 5、今後取組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
安全管理の強化	災害対策として、避難先と連携をとり、共同で避難訓練を行う。 防犯対策の為、警備担当者を配置し園周辺の巡回を行う。
延長保育の充実	長期休暇の預り保育について、保育者の確保や利用方法を検討する。
保育の質の向上	公開保育などの研修に参加し、先生一人ひとりの質の向上を目指す。

#### 6、学校関係者の評価

別途 評価完了次第掲載する。

#### 7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。